

第5回 台東区区民憲章策定区民会議 班別会議

第2班 議事概要

2月7日(火) 19:00~21:30

台東区役所 901 会議室

1. 区民憲章に盛り込むべきことば・キーワードの発表

- ・ 各委員から盛り込むべきことば・キーワードの発表をいただき、それらを基に、別表の通り区民憲章の文案作成を試みた。
- ・ この他、委員から5ヶ条の形式での文案も発表された。「世界：おもてなしにより、誰もが居心地の良い場所にする」「繁栄：経済力、働く喜び、生き甲斐、賑わい」「安全：(外的な部分で)環境問題、緑、平和」「安心：(内的な部分で)福祉問題、思いやり、健康」「未来：教育、文化を将来にわたって継承し、人間性豊かに」

憲章で用いる文章の表現について

- ・ 小学生時分は台東区歌の内容は理解できなかったが、地元の地名が出てくるので何となく楽しんで歌っていた。大人になりようやく意味がわかるようになるが、こういった「するめ」のような憲章もよいのではないか。小学生がその時分で理解できなくてもよいのではないか。
- ・ 小学生も対象になるので、わかりやすい言葉が重要である。堅苦しくなく、唱歌のようにわかりやすい言葉で表現したい。また、文章としても口語体の文章がよく、替え歌にできるくらいおもしろい表現で、みんなに親しまれるものがよい。
- ・ 一方で、人によってあまりにも異なる解釈をされてしまうような表現は避けるべきである。そういう意味では主観的な表現はなるべく避けた方がよいかもしれない。ただし、台東区歌をしめした上でイメージをした上で、本文を読むのであれば、人それぞれのイメージでもよいと思う。

2. 班別の憲章骨子(案)の作成

- ・ 具体的な憲章骨子(案)については別表の通りである。

憲章の構成について

- ・ 区民憲章の構成としては、台東区歌とワンセットで表現することでよりよいものになるのではないか。台東区歌には台東区の地理や歴史のほか、本文に該当しそうなおもいやり等も謳われている。
- ・ 他の市区ではこれほど区歌が浸透していることは稀である。これは台東区の特徴であるので活かした方がよい。台東区歌とワンセットにして小中学校で教えるとよい。また、区歌と一緒にあれば、来街者にとっても耳当たりがよくなるのではないか。
- ・ タイトルは、「区民憲章」では認知度が低いので、親しみやすい副題は必須である。
- ・ 前文で「粹」という一語を打ち出し、本文でその「粹」を誰にでも伝えられるような文

章で対応させる構成がよい。

- ・ 本文では、いずれも条文でも、「みんなで、ともに、誰でも」という接頭語がつけるような形にすることで、対象が台東区に関わる人すべてということを表示したい。
- ・ 他の市民憲章をみると住民の視点だけになっているものばかりである。これまでの議論では来街者も含めてということであった。台東区の特徴として「おもてなし」の条文については特に明確に打ち出していくのもよい。

3. アンケートの実施要領と調査票（案）について

アンケート調査対象・配布方法について

- ・ Fax による返信もあるので、片面印刷にすべきである。また、年齢の回答は、年代に印をつけてもらうような形がよい。
- ・ 特定の団体などを經由して配布するため、総配布数はわからなくなる。本アンケートは統計的な有意性を求めるのではなく、PR の意味が強いので、どれだけ配布できるか、何人から回収できるかという指標を重要視した方がよい。
- ・ 各委員の人脈を通じて配布する、さらにその知り合いに紹介することで、台東区外の人からも回答を得ることができる。こうした方法を採用することでより多くの人にPRできる。
- ・ 統計的な有意性についても担保したいのであれば、無作為抽出による配布の部分だけ、調査票の色を変えるなどして配布すればよい。あまりにも特定の世代の関心が低いようであれば、その層に対し重点的な対策も打つといった際に活用できる。
- ・ 「台東区らしさ」には、こうした策定過程での情報収集方法にも表れる。統計的な処理で分析するよりも、台東区らしい「人と人とのつながり」でアンケートを実施することも、区民憲章の推進活動の一つになってくる。

アンケート調査票について

- ・ 区外の人が答えられるように問1の設問分から「誇りに思っている」という表現は抜いたほうが良い。その上で、今思っている「台東区らしさ」を問うとよいのではないか。

4. その他（今後のスケジュール等）

- ・ アンケート調査表は3班の協議の結果を元に事務局で修正した案を、各委員に送付するので確認をお願いしたい。確認後、3月中にアンケートは実施に移りたい。
- ・ 各班の議論としては、次回班別会議を3月上旬頃に開催する。それまでに各委員は1案ずつ区民憲章の具体的な文案を作成し、発表する。
- ・ 日程が合えば3班合同の班別会議とし、各班で2～3案をまとめ、全体で発表し、それをさらに整理し、代表案をパブリックコメントに賦すということでもよいのではないか。
- ・ また、アンケート調査票が確定していれば、班別会議で各委員に配布可能な数を手渡しし、配布をお願いすればよい。

以上